

12/26.3.7.4

辺野古新基地

「承認は困難

政府、きょうにも「代執行」手続きか

沖縄県の王城デニー知事は25日、名護市辺野古の新基地建設をめぐる「代執行」に向けた訴訟の判決(20日)で、福岡高裁那珂支部が設計変更を25日未だに承認するよう命じたことに対する、「承認処分を行ひに及ばず困難である」などのコメントを発表しました。

肺炎のため入院療養中の、について、「今回の判決にデーー知事に代わって、溜はれあらまな問題がある」と。また、知事として辯護士団の取材に応じ、コメントを読み上げました。古新墓地建設に反対する多くの県民から賃託を受けたコメントは、弁護士や行政学者らの意見を踏まえながらの対応を検討し、承認を行つたことが困難であると判断したと強調。その理由

SNO [۱۷]

スケルトン。

ては、國が不承認を賣ぐテ
二ー知事から権限を奪ひ、

高裁判決を不服として27日の期限が迫る最高裁への上

代わりに承認する代執行に
向けた訴訟で、高裁は20

表明。最高裁で判決の問題

を命じる不當判決を言い渡

県政の願いをつかうかうと試

るの県の判断を受け、国

新基地建設の軟弱地盤改

受けた手続きに入る見通し

卷之二

大浦湾側 破たんは不可避

政府、年明け着工狙うが

沖縄県の玉城デニー知事が25日、同県名護市辺野古の米軍新基地建設をめぐる軟弱地盤の改良工事を表明したことを受け、政府は年内に「代執行」

を強行し、年明けの来月中にも、大浦湾側の工事に着手するかまえです。

防衛省沖縄防衛局は今

月5日まで、「A護岸」「係船機能付き護岸」「C3護岸」「C1護岸」の4件を、県内外の大手ゼネコンと契約(別項)。埋め立て変更承認申請書によれば、C2護

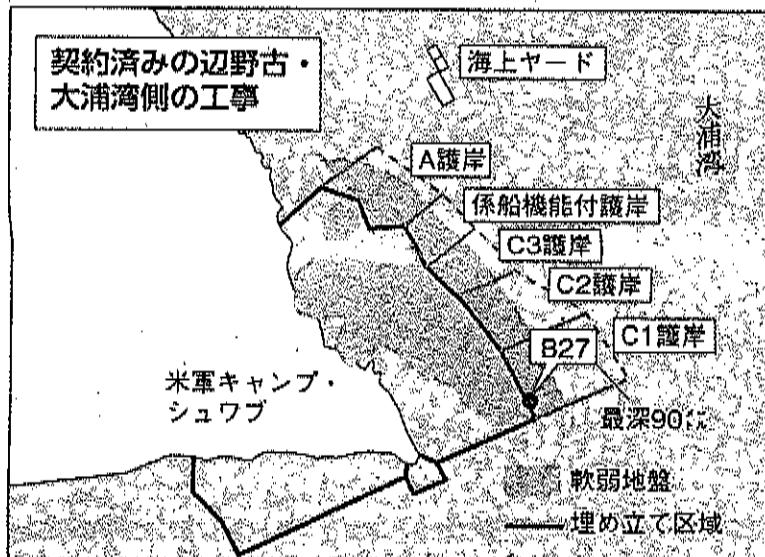
岸はC3と「一体で行なう」とあります。C1護岸とも70歳まで。現状では地盤改良は不可能です。そのためのケーンなどを置く海上ヤードの建設も契約されています。

ただ、これら護岸の下には広大な軟弱地盤が広がっており、地盤改良を行なうことが不可欠です。由だ、設計変更申請を承認とした県の判断は当然です。米軍幹部も、国内メディアとの懇談で軟弱地盤の問題を問われ、在しています。

地盤改良の最大施工実績は海外を含めても70年代と呼ばれる地点が存在する「B27」と呼ばれる地点が存続しています。

「もしそれが修正できないのであれば、(軍事的に)影響を与えるかもしない」と懸念を示しています。

沖縄防衛局は設計変更後の工期を12年としています。仮に24年から着工しても最短で36年となります。さらに長期にわたることは確実であり、それに伴って工費も賃料井で膨張し、公共工事としては破綻が目に見えています。



■大浦湾側工事の契約状況

- ▼ A護岸（大成建設・五洋建設・国場組）93億4120万円（～26年3月15日）
- ▼ 係船機能付き護岸（東洋建設・安藤間・屋部土建）144億5950万円（～27年3月15日）
- ▼ C3護岸（東亜建設工業・大林組・大成建設）142億2300万円（～27年3月15日）
- ▼ C1護岸（五洋建設・大成建設・国場組）261億4700万円（～28年3月15日）

沖縄防衛局は設計変更後工期を12年としています。仮に24年から着工しても最短で36年になりますが、実際には、さらに長期にわたることは確実であり、それに伴って工費も賃料井で膨張し、公共工事としては破綻が目に見えています。